



日動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (222) 7207 番

94.9.6 No.4056

日貨労・貨産労の動乗勤改悪 裏切り妥結を許すな!

12月ダイ改阻止へ 客貨員をあげて闘おう

JR貨物の動力車乗務員勤務制度改悪をめぐって、JR総連日貨労と貨物鉄産労は率先協力し、今にもこれを妥結しようとしている。

そして貨物会社は、両組合の妥結＝就業規則改悪強行をねらっている。日貨労、鉄産労とも現場の組合員の「待ち合わせ時間の切り捨て」に対する切実な反対の声を押し切って動乗勤妥結に突き進む背景には、「中長期計画」＝当面三年間で一八〇〇人削減合理化が明らかになるなかで、「なんとしても自分だけは助かろう」という国鉄分割・民営化過程の醜態な再現を行なおうとしているからだ。

だが、「中長期計画」には、単に「貨物会社の赤字解消」というレベルにとどまるものではない。「社員の年令構成、継承設備の老朽化」など分割・民営化の矛盾の極限的集中や、国鉄清算事業団の債務返済の破綻な

どともあいまって、分割・民営化そのものの再検討まで突き進まざるを得ない内容を含んでいる。問題は五五才に到達する労働者をはじめ全労働者に犠牲を転嫁し、「去るも地獄、残るも地獄」に叩きこもうとしているところにある。

またこれは、単に貨物の労働者だけの問題ではない。年令構成の問題など今後各旅客会社においても必然的に爆発する。いまから全JRの労働者の問題として闘わなければならない。

動乗勤改悪は「中長期計画」とりわけ当初三年間の「緊急三年計画」の柱になる基地統廃合(動乗・車両・検修)に道を開くものだ。だから会社は今年の十二月ダイ改で強行しようとしているのだ。

日貨労、貨産労の裏切り妥結を許さず、十二月ダイ改阻止に客貨をあげて闘おう!

第二二回定期大会

とき 一〇月二日(三時)～二日(正午)

ところ 国民宿舎・のさか望洋荘

12月ダイ改合理化粉碎!
解雇撤回闘争の勝利へ向け

青年部結成一五周年―闘う伝統の継承・発展へ!

動労千葉青年部は、九月九日・一〇日の両日にわたり、第七回定期委員会を開催します。

本定期委員会は、動労千葉青年部結成一五周年にあたる本年、動労千葉青年部の闘う伝統を如何に継承・発展させるのかが問われている委員会です。

同時に、村山政権の裏切り、大失業時代の到来、PKOLアングラ派兵、「分割・民営化体制

の見直し」＝JR貨物を突破口にした新たな一〇万人首切りの攻撃など闘いの課題は山積しています。

青年部は、ぜひともこの情勢に見合った闘いと組織を創りあげるために奮闘したいと考えます。

全組合員・青年部員のみならず、第一七回青年部定期委員会が集まろう!

青年部定期委員会に集まろう!

とき 九月九日～一〇日

ところ なのはな倶楽部

■たたかう労働運動の
■新しい潮流をめざす

9.18労働者集会

★記念講演：岩井 章
★基調報告：中野 洋

